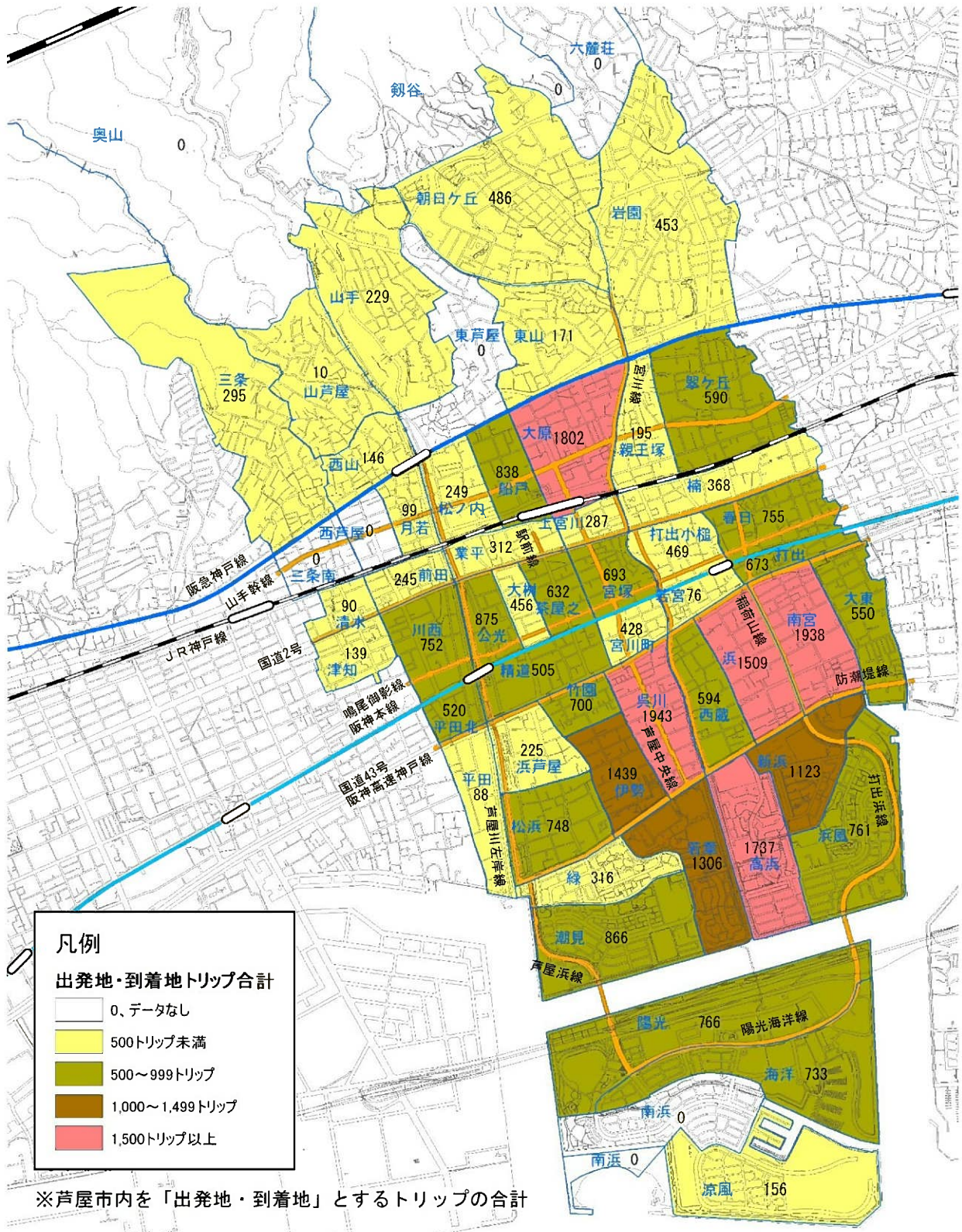


《自転車移動の状況（16,348TP）》

○平均自転車運転時間：12.1分

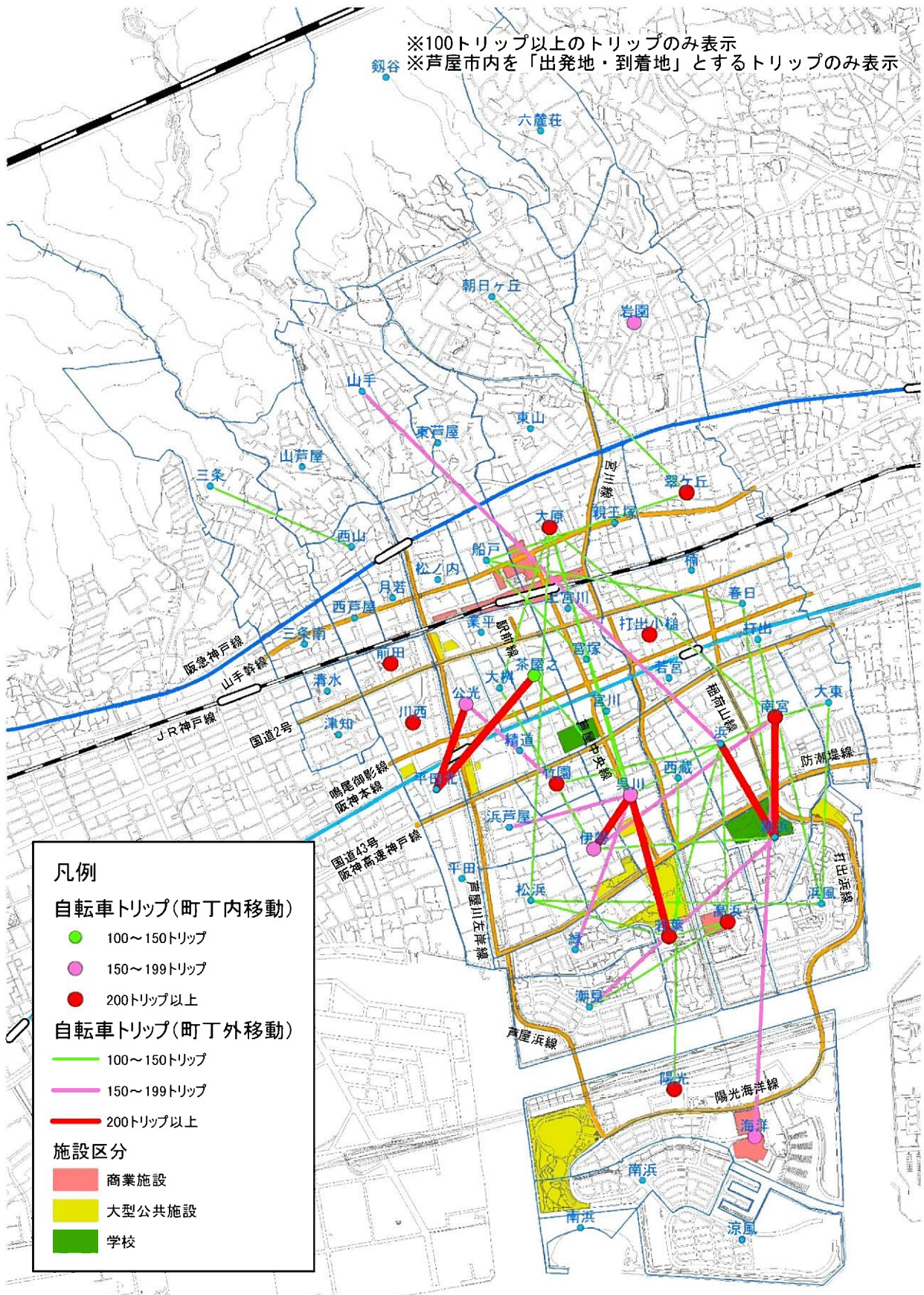
- ・阪急以南の市街地（中央・浜・南芦屋浜）における自転車トリップが多く、特に阪神以南の比較的地形が緩やかな地域において多くなっている。
- ・阪神以南では、「芦屋中央線」「稲荷山線」の沿道エリア、浜エリアなどで自転車移動が多い。

■自転車移動の状況（「代表交通手段：自転車」の芦屋市内トリップ数の町別合計）



資料：H22 京阪神都市圏パーソントリップ調査

■自転車移動の状況（「代表交通手段：自転車」の芦屋市内トリップ数）



資料：H22 京阪神都市圏パーソントリップ調査

## ④自転車交通量の状況

### 《調査概要》

#### ○調査日時

- ・ 平日調査：平成 29 年 11 月 29 日（水）
- ・ （交通量・通行量調査）12 時間調査 7：00～19：00

#### ○調査箇所数

- ・ 11 箇所

#### ○交通量・通行量調査

- ・ 対象交差点・断面を通過する自動車類・自転車・歩行者類を、数取器（カウンター）にて方向別、車種別、時間帯別に計測する。また、自転車に関しては歩道通行、車道通行別に計測する。集計単位は、1 時間単位とする。
- ・ 分類は、自動車類は表①に示す自動車類 2 分類とする。また、歩行者類・自転車類・二輪車類は表②示す 4 分類とする。二輪車には「原付」「自動二輪車」を含むものとする。

表① 自動車分類表

観測区分	種別	内容
大型車	バス	ナンバープレートの車種分類番号の頭が 2 の車両
	普通貨物車	ナンバープレートの車種分類番号の頭が 1, 9, 0 の車両
小型車	乗用車	ナンバープレートの車種分類番号の頭が 3, 5, 7 の車両
	小型貨物車	ナンバープレートの車種分類番号の頭が 4, 6 の車両

※車頭番号 8 の車両は形状判断によって、上記分類別に計測する。

表② 歩行者類・自転車類・二輪車類分類表

観測区分	種別	内容
歩行者類	歩行者	歩行者
自転車類（車道）	自転車	車道上を通行する自転車
自転車類（自歩道）		自歩道上を通行する自転車
動力付き二輪車類	バイク	原動機付き自転車
		その他自動二輪車

### 《調査地点別の状況》

- ・ 12 時間自転車交通量（上下合計値）が 1,000 台を超えている地点は、東西道路では国道 2 号及び国道 43 号、南北道路では芦屋中央線及び稲荷山線となっている。

《車道上・歩道上別自転車断面交通量の状況》

- ・全体的に、歩道上を走行している自転車が多く、車道上を走行している割合が1割未満の調査地点が19地点のうち13地点となっている。
- ・そのうち11地点については、自転車歩行者道（自転車歩道通行可の標識のみ、もしくは標識＋自転車通行区分）であるが、「鳴尾御影線」「宮川線（南）」については、原則車道通行の箇所にもかかわらず、歩道上を走行している自転車が多い。
- ・奥山精道線及び芦屋川右岸線は、歩道がない区間、片側歩道かつ歩道が狭い区間などが調査地点となっているため、車道上走行が多いと考えられる。
- ・12時間自転車断面交通量が1,000台を超えている地点は全て自転車歩道通行可となっている。

■車道上・歩道上別自転車断面交通量の状況

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	芦屋川 右岸線	芦屋川 左岸線 (北)	芦屋川 左岸線 (南)	鳴尾 御影線	山手 幹線	芦屋 中央線 (北)	芦屋 中央線 (南)	宮川線 (北)	宮川線 (南)	稲荷山 線 (北)	稲荷山 線 (南)
車道上	62	28	29	56	19	31	45	21	49	36	54
歩道上	30	223	387	438	351	1,175	1,646	477	527	370	1,626
合計	92	251	416	494	370	1,206	1,691	498	576	406	1,680
車道上率	67%	11%	7%	11%	5%	3%	3%	4%	9%	9%	3%
自転車通行区分	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	○
自転車可標識	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○

	12	13	14	15	16	17	18	19
	国道 2号	国道 43号	芦屋停 車場線	奥山 精道線 (北)	奥山 精道線 (中)	奥山 精道線 (南)	芦屋鳴 尾浜線	東灘 芦屋線
車道上	196	24	39	21	122	737	0	5
歩道上	1,814	1,803	615	9	80	0	255	59
合計	2,010	1,827	654	30	202	737	255	64
車道上率	10%	1%	6%	70%	60%	100%	0%	8%
自転車通行区分	×	×	×	×	×	×	×	×
自転車可標識	○	○	○	×	×	×	○	○

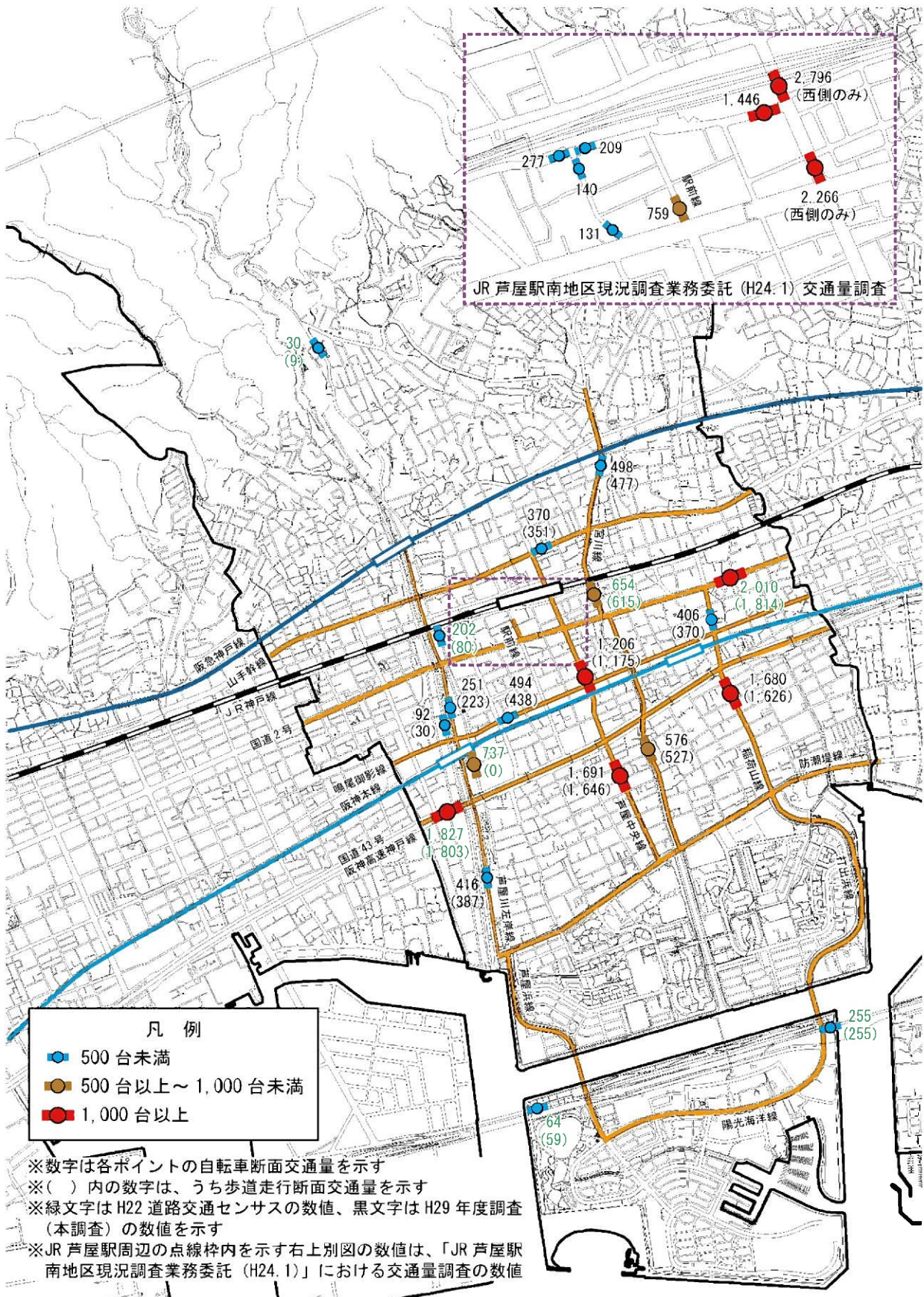
《朝ラッシュ時の自転車断面交通量の状況（詳細）》

- ・朝ラッシュ時（7時～9時）の自転車交通量（上下合計値）を15分間隔で見ると、7:45～8:00にピークがある調査地点が最も多く（4カ所）、次いで7:30～7:45にピークがある調査地点が多い（3カ所）。
- ・よって30分間隔で見た場合、7:30～8:00にピークがある調査地点が最も多い（7カ所）。

■朝ラッシュ時の自転車断面交通量の状況（15分、30分間隔）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	芦屋川 右岸線	芦屋川 左岸線 (北)	芦屋川 左岸線 (南)	鳴尾 御影線	山手 幹線	芦屋 中央線 (北)	芦屋 中央線 (南)	宮川線 (北)	宮川線 (南)	稲荷山 線 (北)	稲荷山 線 (南)
7:00～7:15	3	6	16	4	2	39	47	6	18	10	40
7:15～7:30	5	8	14	5	5	57	44	9	24	3	22
7:30～7:45	5	20	18	7	7	64	60	17	45	5	25
7:45～8:00	3	19	16	8	4	77	79	20	30	8	50
8:00～8:15	2	12	15	16	9	61	70	7	14	10	36
8:15～8:30	6	5	17	11	3	36	41	13	20	11	37
8:30～8:45	2	8	12	13	7	29	47	18	11	12	46
8:45～9:00	5	7	16	9	3	11	31	20	18	7	25
7:00～7:30	8	14	30	9	7	96	91	15	42	13	62
7:30～8:00	8	39	34	15	11	141	139	37	75	13	75
8:00～8:30	8	17	32	27	12	97	111	20	34	21	73
8:30～9:00	7	15	28	22	10	40	78	38	29	19	71

■自転車断面交通量の状況（昼間12時間断面交通量）



### 《自動車類断面交通量の状況》

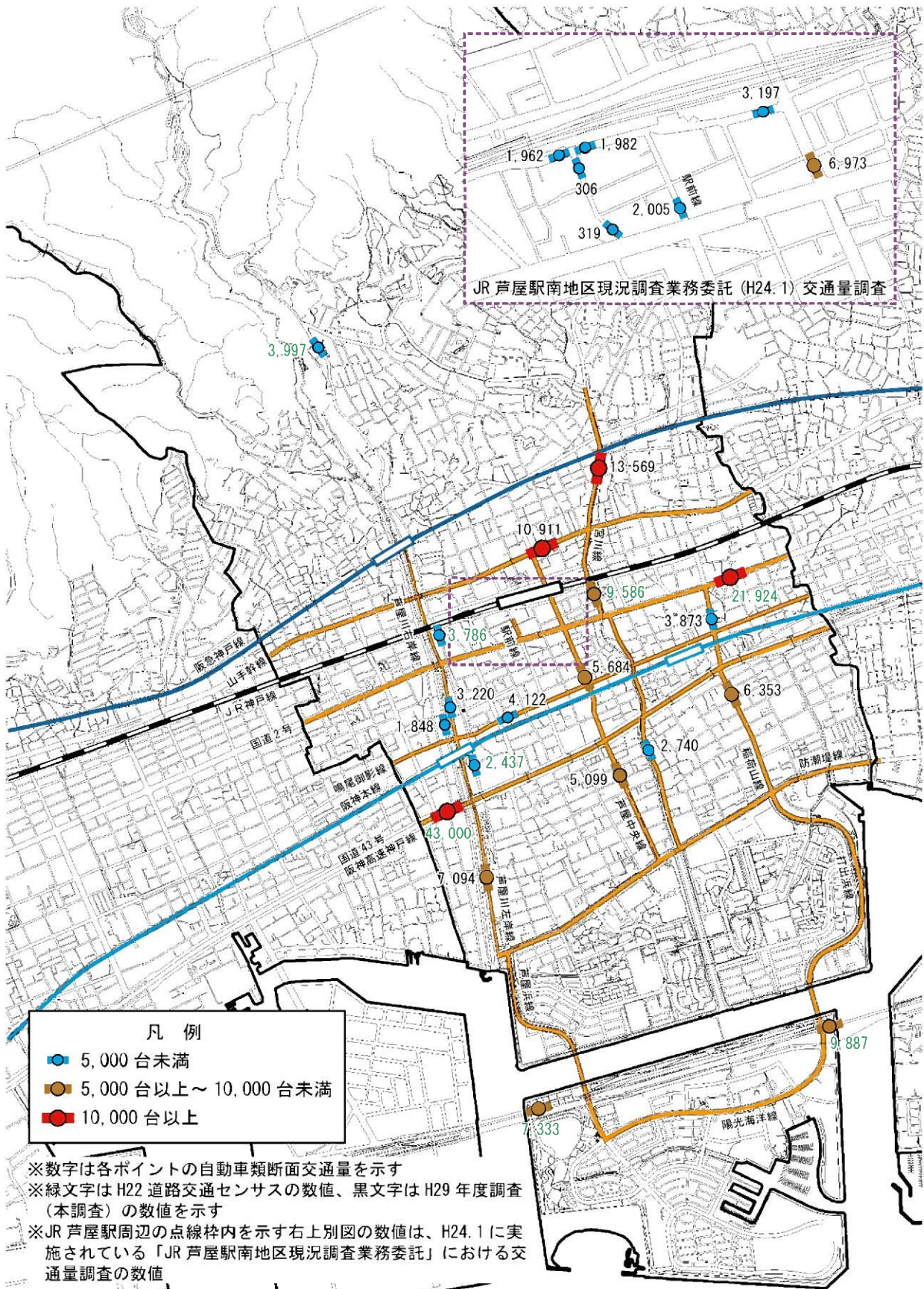
- ・自動車類の12時間断面交通量が10,000台を超えている路線は、「山手幹線」「宮川線（北）」「国道2号」「国道43号」となっており、特に「国道2号」「国道43号」の交通量が多くなっている。
- ・大型車混入率が1割を超えている路線は、「芦屋川左岸線（北）及び（南）」「宮川線（北）」「国道43号」「奥山精道線（中）」「芦屋鳴尾浜線」「東灘芦屋線」となっており、特に、東西を結ぶ幹線道路となっている「国道43号」「芦屋鳴尾浜線」「東灘芦屋線」の割合が高くなっている。

#### ■自動車類断面交通量の状況

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	芦屋川 右岸線	芦屋川 左岸線 (北)	芦屋川 左岸線 (南)	鳴尾 御影線	山手 幹線	芦屋 中央線 (北)	芦屋 中央線 (南)	宮川線 (北)	宮川線 (南)	稲荷山 線 (北)	稲荷山 線 (南)
小型車	1,695	2,654	6,363	3,942	10,120	5,282	4,745	12,205	2,558	3,605	5,753
大型車	153	566	731	180	791	402	354	1,364	182	268	600
自動車類合計	1,848	3,220	7,094	4,122	10,911	5,684	5,099	13,569	2,740	3,873	6,353
大型車混入率	8.3%	17.6%	10.3%	4.4%	7.2%	7.1%	6.9%	10.1%	6.6%	6.9%	9.4%

	12	13	14	15	16	17	18	19
	国道 2号	国道 43号	芦屋停 車場線	奥山 精道線 (北)	奥山 精道線 (中)	奥山 精道線 (南)	芦屋鳴 尾浜線	東灘 芦屋線
小型車	20,347	32,262	8,966	3,610	3,402	2,284	5,932	4,271
大型車	1,577	10,738	620	387	384	153	3,955	3,062
自動車類合計	21,924	43,000	9,586	3,997	3,786	2,437	9,887	7,333
大型車混入率	7.2%	25.0%	6.5%	9.7%	10.1%	6.3%	40.0%	41.8%

■自動車類断面交通量の状況（昼間12時間断面交通量）

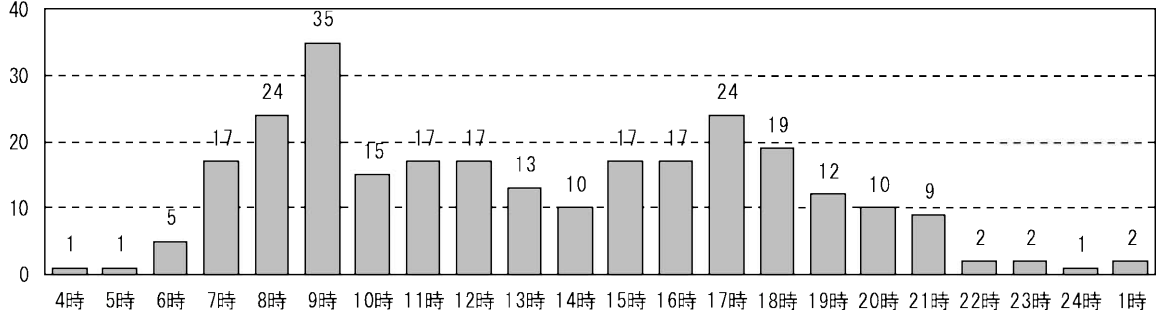


## ⑤自転車事故の状況

- ・朝夕の通勤・通学ラッシュ時間に該当する「8～9時」「17時」の自転車事故が多くなっているが、その間の時間においても、ほぼ一定数の自転車事故が発生している。

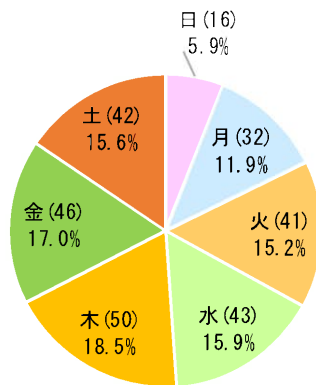
■時間別自転車事故発生件数（H26～H28）

(件)



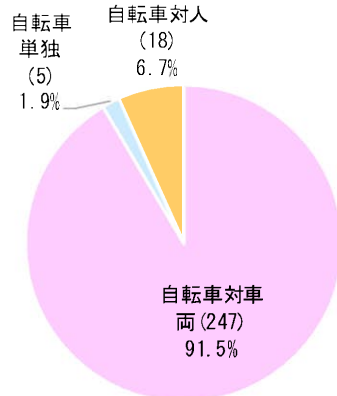
- ・日曜日の自転車事故は、他曜日に比べて少ない。
- ・自転車対「車両」の事故が9割以上と多い。
- ・自転車事故の発生個所を場所別にみると、「交差点」における事故が約85%と多くなっている。

■曜日別自転車事故発生件数（H26～H28）



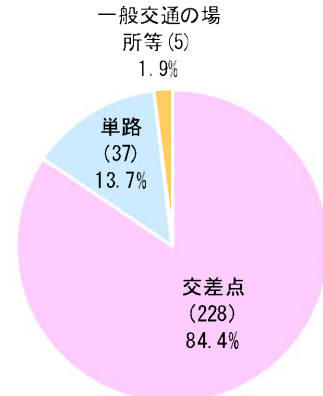
※（ ）内の数字は実数

■対人・車両別自転車事故発生件数（H26～H28）



※（ ）内の数字は実数

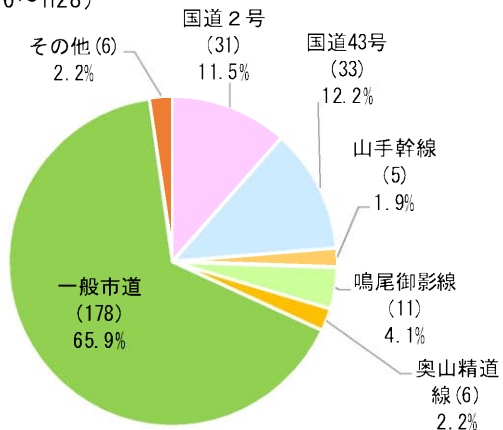
■場所別自転車事故発生件数（H26～H28）



※（ ）内の数字は実数

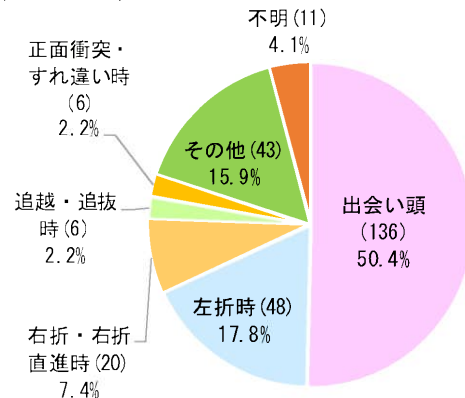
- ・路線別に見ると「一般市道」における事故が全体の約2/3となっているが、幹線道路では「国道2号」「国道43号」の事故がそれぞれ1割以上となっている。
- ・事故類型別に見ると、「出会い頭」の事故が半数を占め、最も多い。

■路線別自転車事故発生件数（H26～H28）



※（ ）内の数字は実数

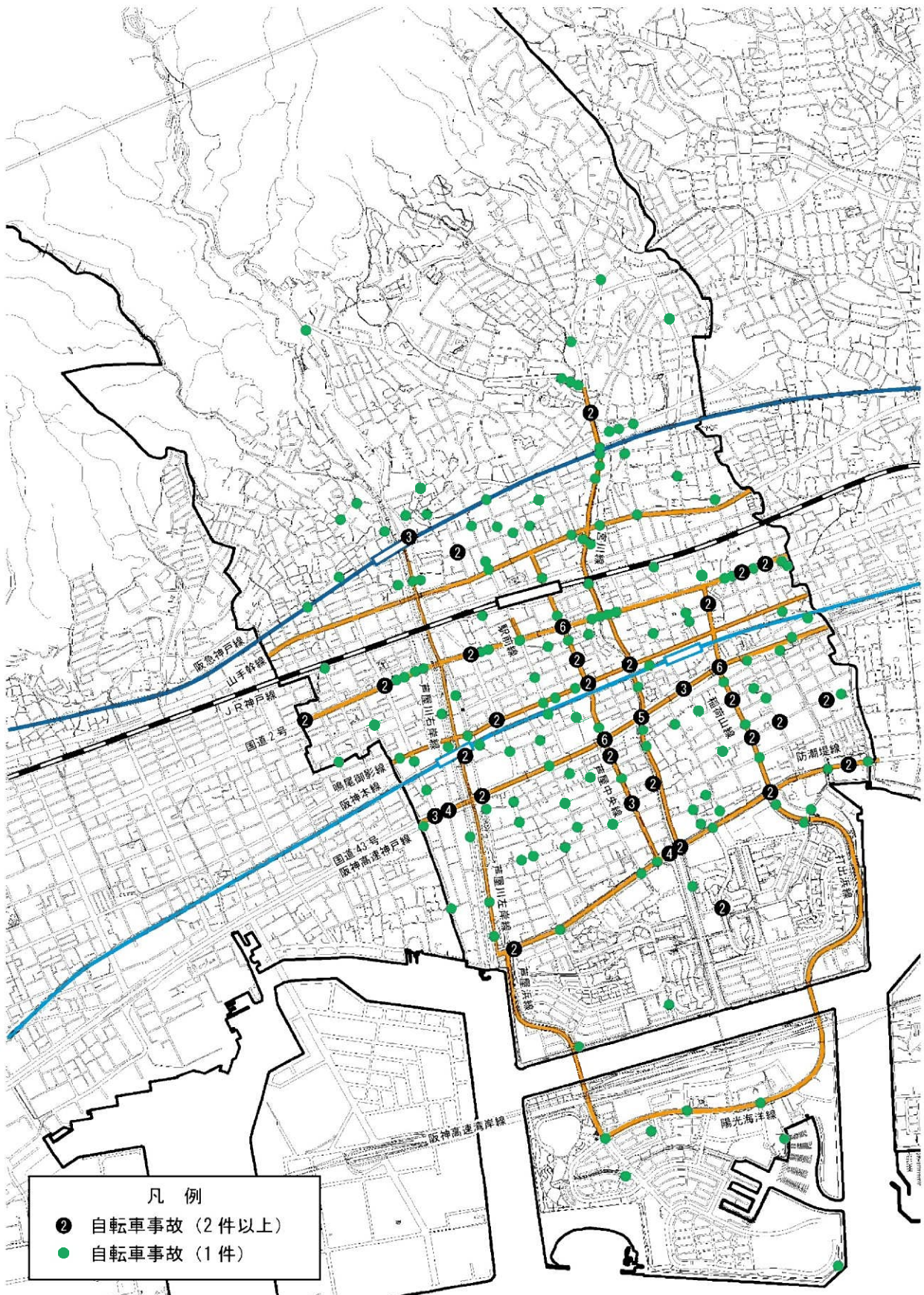
■事故類型別自転車事故発生件数（H26～H28）



※（ ）内の数字は実数



■自転車事故発生箇所 (H26～H28)



資料：芦屋警察署より提供された情報を図化